



4 A Charger



取扱説明書
日本語

1 安全にお使いいただくために



本説明書には、利用者の安全を確保し、人身事故や物的損害を防止するために、守っていただきたい指示記号が記載されています。これらの指示記号は三角形の警告マークで強調表示され、危険度に応じてその下に注意書きが記載されています。

- ▶ 試運転および使用前に本書をよくお読みください。これによって危険やエラーを回避することができます。
- ▶ この説明書は大切に保管してください。この取扱説明書は製品の重要な一部であるため、第三者に譲渡または売却する場合は必ず添付してください。

注記

また、駆動システムHPRの他の構成部品に関する補足資料や、電動自転車 (E-Bike) に同梱されている資料も参照してください。

1.1 危険度の分類

⚠ 危険

このシグナルワードは、回避しなければ死亡または重傷を負う高い危険度を示しています。

⚠ 警告

このシグナルワードは、回避しなければ死亡または重傷につながる中程度の危険度を示しています。

⚠ 注意

このシグナルワードは、回避しなければ軽症または中程度のケガを負う可能性のある、低い危険度を示しています。

注記

この説明書での「注記」とは、製品に関する重要な情報、または特に注意を払うべき各説明を示しています。

1.2 使用目的

TQ-Chargerは、HPR駆動システムのHPR Battery V01とオプションのHPR Range Extender V01の充電専用設計されています。これ以外の用途には使用しないでください。「HPR Battery V01」または「HPR Range Extender V01」という用語は、電動自転車 (E-Bike) の同梱品である純正のBatteryまたはオプションである純

正のRange Extenderのみを示しています。

これ以外の使用や、これを逸脱する使用は不適切とみなされ、保証の対象外になります。TQ-Systems GmbHは、不適切な使用によって生じる損害および本製品の完全かつ機能的な動作に対して責任を負いかねます。

使用目的には、本説明書ならびに本説明書に記載されている注意事項、および電動自転車 (E-Bike) に同梱されている補足資料の使用目的に関する情報を守ること含まれています。

製品を正しく安全に使用するためには、正しい輸送、保管、組み立て、試運転が必要です。

1.3 TQ-Chargerに関する安全上のご注意

- HPR Battery V01とHPR Range Extender V01の充電には、必ず純正のTQ-Chargerを使用してください。
- このChargerは、電動自転車 (E-Bike) の同梱品である純正のBatteryまたはオプションである純正のRange Extenderの充電にのみ使用できます。
- 充電を行う前にCharger、ケーブル、プラグが破損していないことをその都度確認してください。
- 破損したケーブルまたはプラグでChargerを作動させないでください。これを守らないと、感電する危険があります。
- Chargerを決して開けないでください。Chargerが故障した場合は、認定の自転車販売店に点検を依頼してください。
- Chargerが濡れないようにしてください。これを守らないと、感電する危険があります。
- Chargerは必ず乾燥した室内で作動させてください。
- Chargerは清潔に保ってください。汚れは感電の原因になります。
- 燃えやすい物(紙や布など)の上や引火性の高い環境でChargerを作動させないでください。
充電中にChargerが発熱し、火災が発生するおそれがあります。
- BatteryおよびRange Extenderの充電中は目を離さないでください。
- この機器は、8歳以上のお子様、身体的、感覚的、知的能力に障害がある方、また経験や知識のない方でも、監視下で、あるいは安全に使用するための指導を受け、その危険性を理解していれば使用することができます。お子様を本機器で遊ばせないでください。お子様だけで、本機器のクリーニングやメンテナンスを行うことはできません。

2 技術仕様

主電源電圧範囲	100 V AC～240 V AC
主電源周波数範囲	50 Hz～60 Hz
電源プラグのバージョン	EU、米国、英国、ニュージーランド、オーストラリア
出力電圧(最大)	58.8 V
充電電流(最大)	4 A
寸法	177 mm x 86 mm x 32.2 mm / 6.97インチ x 3.39インチ x 1.27インチ
動作温度と保管温度	0 °C～40 °C / 32 °F～104 °F
作動時の最高海拔	3000 m/海拔1.86 m未満
重量	700 g / 1.54 lbs(電源ケーブルを含む)

表 1: 技術仕様 – Charger

3 試運転

3.1 Battery / Range Extenderを充電する

⚠ 警告

Battery、Range Extender、Charger、ケーブル、プラグの破損による火災や感電の危険

- ▶ Battery、Range Extender、Charger、ケーブル、プラグに破損が見られる場合は、Chargerを決して使用しないでください。
- ▶ 周囲に可燃物がない場所で充電を行ってください。
- ▶ 充電中は決して目を離さないでください。

Chargerを電源に接続する

- ▶ 各国固有の電源ケーブルの機器小型プラグ(図1の項番1)をChargerのソケット(図1の項番2)に差し込みます。
- ▶ Chargerの電源プラグをコンセントに差し込みます。

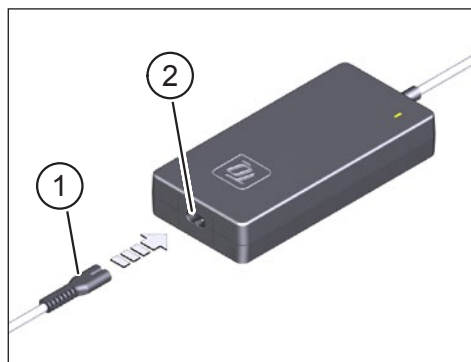


図1: Chargerを電源に接続する

内蔵Batteryを充電する

- ▶ 自転車フレーム部分にある充電ポート（図2の項番2）のカバー（図2の項番1）を開けます。
- ▶ 充電ポートの接点に汚れがないことを確認し、汚れがあれば落としてください。
- ▶ 充電プラグ（図2の項番3）をChargerに位置合わせして、充電プラグの嵌合面と充電ポートが重なるようにしてください（図2を参照）。
- ▶ 充電器の充電プラグをBatteryの充電ポートに差し込みます。
- ▶ 充電が完了したら、Chargerの充電プラグをBatteryの充電ポートから取り外します。
- ▶ 充電の完了後は、充電ポートのカバーを閉じてください。
- ▶ Chargerを電源から外します。

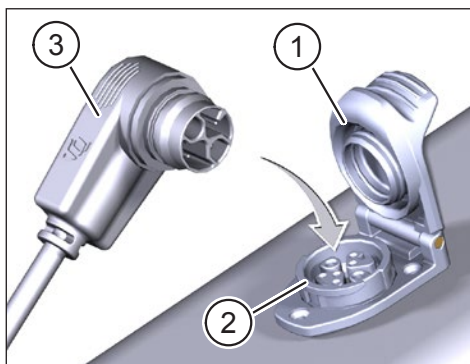


図2: 内蔵Batteryを充電する

注記

駆動システムは、Chargerが自転車フレーム内の充電電池の充電ポートに接続されているかどうかを検出します。この場合、安全上の理由から充電中に駆動システムが作動解除されます。

オプションのRange Extenderを充電する

注記

- オプションのRange ExtenderにChargerが接続されると、自転車フレーム内のBatteryの充電ポートにRange Extenderが接続されているかがチェックされます。この場合、安全上の理由から充電中に駆動システムが作動解除されます。
- 充電システムは、Range Extenderが自転車フレーム内のBatteryの充電ポートに接続されているかどうかを検出します。この場合は最初に内蔵Batteryが充電された後、オプションのRange Extenderに充電されます。

⚠ 注意

充電中に駆動システムが起動することによる事故の危険

- ▶ Range Extenderを自転車に取り付けた後、Range Extenderを自転車フレーム内のBatteryの充電ポートに必ず接続してください。

これによって、充電中に駆動システムが確実に作動解除されます。これを守らないと、充電中に駆動システムが起動したり、充電ケーブルを差し込んだまま走り出す際に転倒したりする危険があります。

- ▶ Range Extenderの充電ポート部にあるカバー(図3の項番1)を開けます。
- ▶ 充電ポート(図3の項番2)の接点に汚れがないことを確認し、汚れがあれば落としてください。
- ▶ Chargerの充電プラグ(図3の項番3)をRange Extenderの充電ポートに差し込みます。
- ▶ 充電が完了したら、Chargerの充電プラグをRange Extenderの充電ポートから取り外します。
- ▶ 充電の完了後は、充電ポートのカバーを閉じてください。
- ▶ Chargerを電源から外します。

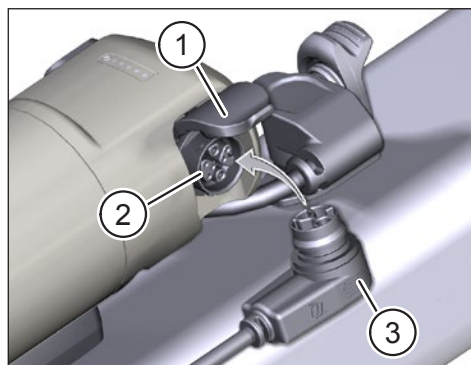


図3: Range Extenderを充電する

3.2 充電に関するご注意

注記

BatteryまたはRange Extenderの温度は、許容充電温度(0 °C～40 °C / 32 °F～104 °F) の範囲内になければなりません。
この温度範囲にないと、充電が開始されません。

- 駆動システムは以下の場合に作動解除されます：
 - Batteryの充電中。
 - Range Extenderが自転車フレーム内のBatteryの充電ポートに接続されており、充電中の場合。
- BatteryとRange Extenderの充電レベルはディスプレイに別々に表示されます。
- Range Extenderの充電レベルは、Range Extenderの側面に取り付けられている6つのLEDにも表示されます。

3.3 ChargerのLEDステータス

LEDステータス	説明
消灯	Chargerがコンセントに差し込まれていない
赤で点滅	スタンバイ(Batteryが未接続)
緑で点滅	充電中
緑で点灯	充電が完了
赤で点灯	エラー(過電圧、電圧不足、出力部の短絡、過電流、温度超過、極性誤り)

表 2: ChargerのLEDステータス

4 輸送と保管

- Chargerは、直射日光を避け、乾燥した場所に保管してください。
- Chargerの破損を防ぐため、落とさないようにしてください。

5 クリーニング

- ▶ Chargerを電源から外し、必要に応じて電源ポートからも外してください。
- ▶ 必ず湿らせた布でChargerの汚れを落としてください。
- ▶ Chargerが完全に乾いていることを確認してから再使用してください。

6 メンテナンスと保守

すべての保守・修理・メンテナンス作業は、TQ社認定の自転車販売店にお任せください。また電動自転車の使用、保守、修理、メンテナンスに関する不明点も自転車販売店が対応します。

7 環境に配慮した廃棄

駆動システムの部品や充電池を可燃ごみとして廃棄しないでください。

- 金属製およびプラスチック製の部品は、各国の規定に従って廃棄してください。
- 電気部品は各国の規定に従って廃棄してください。例えばEU諸国では、廃電気電子機器指令 2012/19/EU (WEEE) の国内施行法を守ってください。
- Batteryおよび充電池は、各国の規定に従って廃棄してください。例えばEU諸国では、2008/68/EC指令および欧州委員会委任指令 (2020/1833 (EU)) と併せて、電池指令2006/66/ECの国内施行法を守ってください。
- 廃棄の際には、お住まいの国の規定や法律にも従ってください。

また不要になった駆動システム部品は、TQ社認定の自転車販売店に返却いただいても結構です。





注記

詳しい情報および各国語のTQ社製品取扱説明書は、
www.tq-ebike.com/en/support/manualsにアクセスして入手するか、またはこの
QRコードをスキャンして入手することができます。



当社は、この印刷物の内容と記載されている製品との整合性を精査しています。しかしながら、
食い違いを排除することはできないため、完全な適合性および正確性に関して、当社は一切の
責任を負いかねます。

本印刷物の記載情報は定期的に見直し、修正が必要な場合は次版に反映されます。

本書に記載されているすべての商標は各所有者に帰属します。

Copyright © TQ-Systems GmbH